

学校コード F117310105497

注1

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

注2

金沢学院大学 文学部 文学科

## 収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人金沢学院大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 企画部参事 石川 温

電話番号 076-229-8892

（夜間） 076-229-8892

e-mail kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

（注） 1 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

2 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きに旧名称を記載してください。

例） ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

# 目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	3
①文学部文学科	
2. 既設大学等の状況 . . . . .	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	7

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人金沢学院大学

## (2) 大学名

金沢学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1392

石川県金沢市末町10の5番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成29年1月)		
学 長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成25年4月)		
学 部 長	(スイドウ ユキオ) 水洞 幸夫 (平成25年4月)	(シトミ キワコ) 蒨 際子 (令和4年4月)	令和4年4月1日付で学部長任期満了により変更(4)
学科長等	(シトミ キワコ) 蒨 際子 (平成31年4月)	(ナカザキ タカシ) 中崎 崇志 (令和4年4月)	令和4年4月1日付で蒨学科長が学部長になったため変更(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画								定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員					
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
文学部 文学科 学士(文学)	4年	150人	180人	10人	8人	620人	736人	令和3年度	新規入学者を 募集中		
区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	—	—	—	—	180	—	180	—	1.06 倍	—	
志願者数	( — )	( — )	( — )	( — )	( 12 )	( — )	( 3 )	( — )			
受験者数	( — )	( — )	( — )	( — )	( 12 )	( — )	( 3 )	( — )			
合格者数	( — )	( — )	( — )	( — )	( 12 )	( — )	( 3 )	( — )			
B 入学者数	( — )	( — )	( — )	( — )	( 12 )	( — )	( 3 )	( — )			
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	1.04	—	1.08	—			

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
  - ・ 記載例は、令和2年度定員変更の4年制の学科の場合ですが、変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(設置計画履行状況等調査の対象期間が5年を超える場合には、別途ご連絡ください。)
  - ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
  - ・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	金沢学院大学				学生募集停止学科数	6	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考			
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度				
	年	人	年次 人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度	
文学部	4	180	3年次 <sub>8</sub>	736	1.11	1.23	1.11	1.08	1.13	-	-	
文学科	4	180	3年次 <sub>8</sub>	736	1.26	1.21	1.04	1.08	1.14	令和3	平成27	定員変更 (30)
日本文学専攻	4	60	(便宜上) <sub>4</sub>	248	1.16	1.14	1.00	1.23	1.13	令和3	平成27	定員変更 (10)
英米文学専攻	4	30		120	1.03	0.70	0.40	0.36	0.62		平成27	
歴史学専攻	4	50	(便宜上) <sub>4</sub>	208	1.62	1.47	1.30	1.12	1.37	令和3	平成27	定員変更 (10)
心理学専攻	4	40		160	1.16	1.50	1.27	1.37	1.32	令和3	平成27	定員変更 (10)
教育学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成30	令和4年より学生募集停止
教育学部	4	70	3年次 <sub>5</sub>	290	-	-	-	1.02	1.02	-	令和4	
教育学科	4	70	3年次 <sub>5</sub>	290	-	-	-	1.02	1.02	-	令和4	
経営情報学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
経営ビジネス学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成18	平成28年より学生募集停止
経営システム学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成18	平成28年より学生募集停止
経営情報学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成28	令和2年より学生募集停止
経済学部	4	180	3年次 <sub>10</sub>	740	-	1.12	1.12	1.14	1.12	令和4	令和2	定員変更 (40)
経済学科	4	110	3年次 <sub>5</sub>	450	-	1.00	1.00	1.00	1.00	令和4	令和2	定員変更 (30)
経営学科	4	70	3年次 <sub>5</sub>	290	-	1.28	1.28	1.37	1.31	令和4	令和2	定員変更 (10)
経済情報学部	4	70	-	280	-	1.12	1.12	1.05	1.09	-	令和2	
経済情報学科	4	70	-	280	-	1.12	1.12	1.05	1.09	-	令和2	
芸術学部	4	70	3年次 <sub>2</sub>	284	1.12	1.21	1.21	1.04	1.14	-	平成28	
芸術学科	4	70	3年次 <sub>2</sub>	284	1.12	1.21	1.21	1.04	1.14	-	平成28	
人間健康学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
スポーツ健康学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成23	令和3年より学生募集停止
健康栄養学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成28	令和3年より学生募集停止
スポーツ科学部	4	150	3年次 <sub>10</sub>	620	-	-	1.14	1.15	1.14	令和3	令和3	
スポーツ科学科	4	150	3年次 <sub>10</sub>	620	-	-	1.14	1.15	1.14	令和3	令和3	
栄養学部	4	80	3年次 <sub>5</sub>	330	-	-	1.03	1.10	1.06	-	令和3	
栄養学科	4	80	3年次 <sub>5</sub>	330	-	-	1.03	1.10	1.06	-	令和3	
大学全体	-	800	40	3280	-	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢学院大学大学院				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
	年	人	年次人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度
大学院経営情報学研究科											
経営情報学専攻（博士前期課程）	2	10	-	20	-	-	0.30	0.40	0.35	-	平成11
経営情報学専攻（博士後期課程）	3	4	-	12	-	0.25	0.00	0.00	0.08	-	平成17
大学院人文学研究科											
人文学専攻（修士課程）	2	5	-	10	-	-	0.20	0.60	0.40	-	平成20
大学院スポーツ健康学研究科											
スポーツ健康学専攻（修士課程）	2	5	-	10	-	-	0.60	0.20	0.40	-	平成27
大学院全体	-	24	-	52	-	-	-	-	-	-	-

大学の名称	金沢学院短期大学				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度
					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
	年	人	年次人	人					倍		
幼児教育学科	2	50	-	100	-	-	0.96	0.76	0.86	-	平成30
現代教養学科	2	50	-	100	-	-	1.04	1.22	1.13	-	平成28
食物栄養学科	2	60	-	120	-	-	0.76	1.08	0.92	-	平成17
短期大学全体	2	160	-	320	-	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

### 3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時  (令和2年度)	該 当 な し			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(文学部教育学科)	指摘事項 (改善)	<p>学科の教員組織構成について、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の比率が高いが、新学科設置時には教育学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。</p> <p>今後、この経験豊富な教員が30～40歳代の若手教員に教育学に関する知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することを計画している。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(3)</p>	<p>履行状況に記載した経験豊富な60歳以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。(3)</p>
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(文学部教育学科)	指摘事項 (改善)	<p>学科の教員組織構成について、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の比率が高いが、新学科設置時には教育学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。</p> <p>今後、この経験豊富な教員が30～40歳代の若手教員に教育学に関する知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することに務めた。</p> <p>その結果、令和3年5月1日現在、定年を延長して採用している教員数が47.61%であったものが、令和4年5月1日現在、38.88%に改善している。しかし、依然として高い割合であることより、今後も取り組みを継続する計画である。(4)</p>	<p>履行状況に記載した経験豊富な60歳以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。その際、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(4)</p>

<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和4年)</p>	<p>多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している が、原因分析や改善策 が十分ではないため、 教育研究水準の維持向 上等に配慮した安定的 な教員組織の編成のた め、詳細な原因分析及 びより効果的な改善策 について検討するこ と。(栄養学部栄養学 科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>追加の書面調査に対して、 就任辞退又は辞任の主な原 因が、収束の兆しが見えな いコロナ禍であることに起 因している事を説明した が、今後、その対策として 検討委員会を立ち上げ、効 果的な改善策について検討 を重ねることとしている。 (4)</p>	<p>履行中</p>	<p>追加の書面調査に対して、 就任辞退又は辞任の主な原 因が、収束の兆しが見えな いコロナ禍であることに起 因している事を説明した が、今後、その対策として 検討委員会を立ち上げ、効 果的な改善策について検討 を重ねることとしている。 (4)</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和4年)</p>	<p>定年規程に定める退職 年齢を超える専任教員 数の割合が高いことか ら、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編制の将来構想を 策定し、着実に実行す ること。(栄養学部栄 養学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>現在、定年に関する規定を 遵守することを第一に、30 ～40歳代の准教授、講師あ るいは助教を採用するこ とに務めている。 その結果、令和3年5月1日 現在、定年を延長して採用 している教員数が41.66% であたものが、令和4年5月1日 現在、36.36%に改善してい る。しかし、依然として高 い割合であることより、今 後も取り組みを継続する計 画である。(4)</p>	<p>履行中</p>	<p>履行状況に記載した経験 豊富な60歳以上の教員が 30～40歳代の若手教員に知 識や経験を伝え、定年に関 する規定を遵守することを 第一に、30～40歳代の准教 授、講師あるいは助教を採 用する計画としている。そ の際、年齢構成が偏らない ような人員計画としていく 予定である。(4)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。